

第28期 報告書

2008.2.21～2009.2.20



イオンカードセレクトの発行を開始いたしました

株主の皆さまへ



会長 森 美樹 社長 神谷 和秀

株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。第28期報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に対し、心より厚く御礼申し上げます。

当社が属するクレジット業界は、将来不安の高まりによる個人消費の伸び悩みなどに加え、貸金業法・割賦販売法改正への対応が求められるなど、大きな転換期を迎えているものと認識しております。当社といたしましては、流通系カード会社として加盟店との共同企画実施や特典の強化等、積極的に取り組むとともに、電子マネー事業をはじめとする新たな収益源の育成により、事業構造の転換を図り、この厳しい経営環境を乗り越えてまいります。

当期の業績

当期は、提携先企業、インターネットを通じた会員募集や、男性・若年層を対象とした新規提携カードの発行による会員拡大に取り組んだことにより、連結の会員数を2,003万人に拡大することができました。

また、電子マネーWAONの利用エリア拡大、イオン銀行口座開設業務をはじめとした銀行代理業の強化、グループ

企業のコールセンター業務受託等、新規事業の推進による事業構造の転換に取り組みました。

海外事業につきましては、既にお上場しております香港・タイ・マレーシアの現地法人において、クレジットカード事業に加え、保険代理店事業、サービサー事業等のクレジット周辺事業を強化するとともに、インドネシア、ベトナム等、新たな地域での事業拡大を図りました。

これらの結果、当期の連結業績は、取扱高3兆740億25百万円(前期比112%)、営業収益1,760億7百万円(同97%)、営業利益266億11百万円(同81%)、経常利益268億5百万円(同81%)、当期純利益147億88百万円(同84%)となりました。

来期の取り組み

来期におきましても、世界的な景況感の悪化や将来不安の高まりによる個人消費の伸び悩みなど、厳しい状況が続くものと認識しております。

このような経営環境の中、当社では、電子マネー事業、銀行代理業、ネット事業、事務代行事業等の新規事業に経営資源を投入し、事業構造の転換に継続して取り組むとともに、新たな顧客層の開拓による新規会員の獲得強化、グループ店舗との共同企画実施、特典の強化等により、クレジットカード事業の競争力強化を図ってまいります。

海外事業においては、日本の成功事例を水平展開し、事業の多角化を推進するとともに、新たな地域への展開を推進し、更なる成長を図ってまいります。

今後とも、株主の皆さまのご期待に沿えるよう、一層の事業拡大に取り組んでまいりますので、何卒変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2009年5月

CONTENTS

株主の皆さまへ	1
特集	3
国内事業	5
海外事業	7
CSRへの取り組み	9
連結財務諸表の概要	11
単独財務諸表の概要	12
会社データ	13

第28期 決算ハイライト

(単位:億円)

	連結		単独	
	当期	前期比	当期	前期比
取扱高	30,740	112%	27,424	114%
営業収益	1,760	97%	1,172	97%
経常利益	268	81%	162	73%
当期純利益	147	84%	121	86%

1株当たり年間配当金40円

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要施策と位置付け、株主の皆さまへの適正な利益配分を実施するとともに、事業拡大や生産性向上を実現するための内部留保資金の確保を行い、企業競争力を高めることを利益配分の基本方針としております。

この方針のもと、期末配当金は25円とさせていただきます。これにより、中間配当金15円と合わせて年間配当金は40円となりました。

配当金の状況

	第27期(前期)	第28期(当期)
中間配当金	15円	15円
期末配当金	25円	25円
年間配当金	40円	40円

イオンカードセレクト

クレジットカード、キャッシュカード、電子マネーの特典、機能を1枚に集約したカードです。



イオンカード



イオンカードセレクト



WAONカード



イオンバンクカード



イオンカード

毎月20日、30日のお客さま感謝デーや毎月5のつく日のおきめきわくわくデー等のカードご利用特典に加え、イオンラウンジや空港ラウンジがご利用いただけるなど各種特典をご用意しております。

イオンバンクカード

イオン銀行のATMを365日いつでも無料でご利用いただけることに加え、預金口座からのWAONへのオートチャージ機能導入等、他社にはない独自サービスをご提供しております。

WAONカード

少額決済分野において、非接触でスピーディーなお支払方法をご提供しております。グループ店舗に加え、コンビニやファストフード店等、利用場所を順次拡大しております。

■イオンカードセレクトの発行強化

2009年2月より、クレジットカード、キャッシュカード、電子マネーの特典、機能を1枚に集約した便利でお得な「イオンカードセレクト」の発行を開始いたしました。これにより、少額決済からクレジット決済まで幅広い支払方法に対応し、カードショッピングや電子マネーの取扱高拡大につなげるとともに、「つかう」「ためる」「ふやす」などあらゆる場面において、お客さまに選ばれるカードを目指してまいります。



イオンカードセレクト

グループ金融事業との協業強化

銀行代理業

イオン銀行の口座募集を全国的に展開し、順調に拡大することができました。

事務代行事業

イオン銀行や電子マネーWAONの問い合わせ対応業務に加え、カード発券や口座開設業務の受託を開始いたしました。



▲イオン銀行口座開設受付カウンター



▲コンタクトセンター

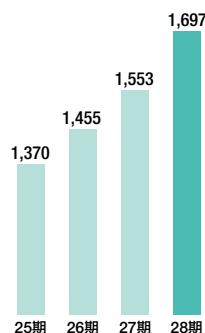
国内事業の強化

クレジットカード事業に加え、電子マネー事業、ネットビジネスといった新規事業の拡大に取り組んでまいります。

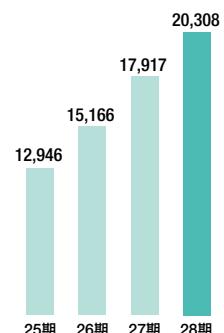


イオンカード募集カウンター

国内会員数の推移
(万人)



国内カードショッピング
取扱高推移(億円)



クレジットカード事業の競争力強化

イオンカードに加え、「イオンSuicaカード」、「コスモ・ザ・カード・オーパス」等の会員募集を継続して強化するとともに、(株)日本航空との「イオンJMBカード」や、スポーツクラブを展開する(株)ルネサンスとの「イオンルネサンスカード」を発行し、男性・若年層といった新たな顧客層の開拓に取り組みました。

カード取扱高拡大の取り組みといたしましては、毎月5日・15日・25日のご利用でポイントが2倍たまる「お客さまわくわくデー」の開始、ゴールドカードの特典として「イオンラウンジ」を111店舗に拡大するとともに、羽田空港のエアポートラウンジのご利用開始等、お客さまサービス・特典の強化を図りました。



▲イオンJMBカード

▲イオンルネサンスカード

電子マネー事業の強化

お客さまの利便性向上を目指し、さまざまな生活シーンでご利用いただけるWAONカードを発行しております。また、(株)吉野家、郵便事業(株)、(株)ファミリーマート等、さまざまな企業との業務提携を締結いたしました。さらに、商業施設や商店街の加盟店開発推進等、地域通貨としての展開も本格化いたしました。



▲WAONカード



▲JMB WAONカード



▲三井住友カードWAON



▲あいポケットWAON



▲石見銀山WAON



▲ゆうゆうWAON

インターネット事業の展開

WEBサイトのリニューアルにより、カードや各種ローンのお申込受付の利便性を強化いたしました。



▲当社ホームページ

URL: <http://www.aeoncredit.co.jp/>

関連会社の取り組み

イオン保険サービス(株)

保険ショップ、ダイレクトメール、インターネット等、それぞれの販売チャネルで培ったノウハウを活用し、営業基盤の構築に取り組みました。これにより統合の効果もあり、営業収益は38億2600万円(前期比337%)となりました。

イー・シー・エス債権管理回収(株)

社会保険庁の国民年金納付督促業務や公共料金等の集金代行業務の受託拡大に取り組んだ結果、当期の営業収益は23億1100万円(前期比119%)と順調に推移いたしました。

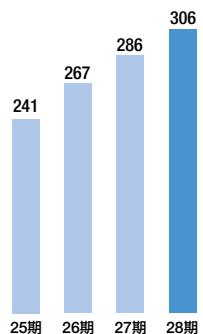
成長を続ける海外事業

香港・タイ・マレーシア現地法人の更なる成長に加え、新たな地域への展開に取り組んでまいります。

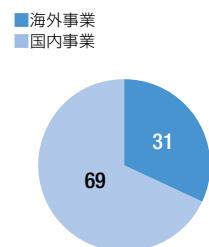


イオン北京国際商城ショッピングセンター

海外会員数の推移
(万人)



連結営業収益に占める
海外事業の構成比 (%)



■中国・香港

イオンクレジットサービス(アジア)では、加盟店と一体となったカード会員向け利用促進企画を実施するとともに、保険代理店事業を強化するため新たな現地法人を設立し、これまでのカード会員さま向けの個人保険に加え、提携先企業の各種保険ニーズに合わせた保険販売を強化いたしました。

また、イオンインフォメーションサービス(深圳)では、香港現地法人から審査、債権管理、コールセンター等の後方業務を全面受託いたしました。

さらに広州、北京では、イオン信用担保(中国)による審査、債権管理業務のノウハウを活用した現地イオン店舗が発行するハウスカードの保証業務を開始いたしました。



香港 コーンビル店

■タイ

クレジットカード事業の拡大に継続して取り組むとともに、リース事業、サービサー事業等、クレジット周辺事業の強化により、順調に業容を拡大いたしました。



▲タイ 百貨店(ビックC)

■マレーシア

カード募集を強化し、会員数を12万人に拡大いたしました。また、今後のボリューム拡大に対応するため、事務センターを全国4カ所に開設いたしました。



▲マレーシア メナラオリンピア支店

■台湾

現地大手流通グループとの提携カードの発行や家電・家具等の分割払い取扱高の拡大により、黒字化が定着いたしました。



▲スポーツクラブとの提携カード

■新たな地域

インドネシアでは、加盟店の拡大に継続して取り組みました。また、新たにベトナムに現地法人を設立し、割賦販売事業を開始いたしました。



▲インドネシア 家電量販店

環境保全・社会貢献活動の推進

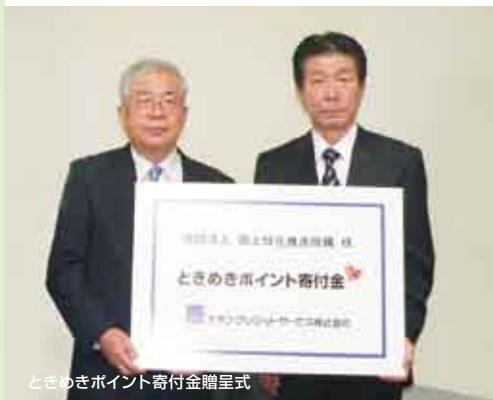
企業市民として社会的責任を果たし、企業価値を継続的に高めるため、環境保全・社会貢献活動に積極的に取り組んでおります。



■環境保全・社会貢献活動

お客様の「ときめきポイント」による寄付に当社からの寄付額を加えて「社団法人 国土緑化推進機構」を通じた植樹活動や「社会福祉法人 日本点字図書館」を通じた点字図書等の寄贈を継続して実施いたしました。

また、事業所周辺の清掃活動に取り組むとともに、社会福祉施設とのボランティア交流を、全国42カ所の施設にて実施したことに加え、「社団法人 日本キリスト教海外医療協力会」への使用済み切手の寄贈や、「財団法人 緑の地球防衛基金」への使用済みプリペイドカードの寄贈を継続して実施いたしました。



■CO₂排出量削減への取り組み

当期は、パソコン・サーバーの省エネ型機種への切替、ご利用明細書を郵送に代えてインターネットで閲覧できる機能の開発等を実施いたしました。

2012年度CO₂排出量目標

2006年度比 **30%削減**

■イオン環境教育基金(香港)

香港現地法人では、特別行政区の教育活動の1つである「優秀学生コンテスト」や「ユニセフ青年大使プログラム」への寄付活動を行いました。



▲香港 イオン環境教育基金支援活動

■タイ・イオン財団(タイ)

タイ現地法人では、当社従業員とお客さまによる、シリントーン王女国立環境公園への寄付および植樹活動を実施いたしました。



▲タイ・イオン財団寄付活動

■イオン1%クラブ

「秋田竿燈まつり」への参加等、地域活動の実施に加え、24時間テレビ「愛は地球を救う」キャンペーンに賛同し、募金活動を実施いたしました。



▲イオン1%クラブ 秋田竿燈祭り

■イオン環境財団

万里の長城植樹、中国煙台植樹、北海道支笏湖植樹、沖縄南風原植樹等、国内外12カ所での植樹活動を行いました。



▲万里の長城植樹

連結財務諸表の概要

連結貸借対照表 (単位:百万円)

	前期 2008年2月20日現在	当期 2009年2月20日現在
【資産の部】		
流動資産	809,822	797,954
割賦売掛金	287,335	245,378
営業貸付金	503,720	483,527
その他	66,661	119,806
貸倒引当金	△47,896	△50,757
固定資産	52,042	56,081
繰延資産	196	157
資産合計	862,061	854,193
【負債の部】		
流動負債	231,042	230,795
短期借入金	27,787	26,581
1年以内返済予定の長期借入金	80,198	70,542
1年以内償還予定の社債	18,498	16,272
その他	104,558	117,398
固定負債	447,681	441,496
社債	112,954	104,533
長期借入金	323,009	321,981
利息返還損失引当金	8,540	11,936
その他	3,176	3,046
負債合計	678,724	672,292
【純資産の部】		
株主資本	158,948	167,461
資本金	15,466	15,466
資本剰余金	17,053	17,052
利益剰余金	126,646	135,161
自己株式	△218	△219
評価・換算差額等	4,314	△4,926
新株予約権	—	25
少数株主持分	20,074	19,340
純資産合計	183,336	181,901
負債純資産合計	862,061	854,193

連結損益計算書 (単位:百万円)

	前期 2007年2月21日から 2008年2月20日まで	当期 2008年2月21日から 2009年2月20日まで
営業収益	181,076	176,007
総合あっせん収益	47,330	52,697
個品あっせん収益	9,752	9,304
融資収益	114,300	96,040
業務代行収益	—	6,150
融資代行収益	1,209	—
償却債権回収収益	2,896	2,366
その他の収益	5,282	9,231
金融収益	304	217
営業費用	148,212	149,396
営業利益	32,863	26,611
営業外収益	474	441
営業外費用	324	246
経常利益	33,014	26,805
特別利益	2,639	12,168
特別損失	1,326	8,609
税金等調整前当期純利益	34,327	30,364
法人税等	12,397	11,183
少数株主利益	4,276	4,392
当期純利益	17,653	14,788

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	前期 2007年2月21日から 2008年2月20日まで	当期 2008年2月21日から 2009年2月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,094	45,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,768	△698
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,434	1,537
現金及び現金同等物に係る換算差額	△687	△2,184
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△10,116	44,363
現金及び現金同等物の期首残高	25,869	15,753
吸収分割に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	85
現金及び現金同等物の期末残高	15,753	60,202

連結株主資本等変動計算書 当期(2008年2月21日から2009年2月20日まで) (単位:百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式		その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2008年2月20日 残高	15,466	17,053	126,646	△218	158,948	4,355	△338	297	4,314	—	20,074	183,336
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△6,273		△6,273							△6,273
当期純利益			14,788		14,788							14,788
自己株式の取得				△2	△2							△2
自己株式の処分		△0		1	0							0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△3,588	△80	△5,570	△9,240	25	△733	△9,948
連結会計年度中の変動額合計	—	△0	8,515	△1	8,513	△3,588	△80	△5,570	△9,240	25	△733	△1,435
2009年2月20日 残高	15,466	17,052	135,161	△219	167,461	767	△419	△5,273	△4,926	25	19,340	181,901

単独財務諸表の概要

単独貸借対照表 (単位:百万円)

	前期 2008年2月20日現在	当期 2009年2月20日現在
【資産の部】		
流動資産	603,702	606,733
割賦売掛金	217,971	182,591
営業貸付金	382,698	375,312
その他	45,705	94,506
貸倒引当金	△42,673	△45,676
固定資産	49,803	54,055
繰延資産	196	157
資産合計	653,702	660,946
【負債の部】		
流動負債	164,178	170,696
短期借入金	2,150	500
1年以内返済予定の長期借入金	53,200	47,600
1年以内償還予定の社債	15,000	15,000
その他	93,828	107,596
固定負債	346,922	345,157
社債	105,000	90,000
長期借入金	231,600	241,300
利息返還損失引当金	8,540	11,936
その他	1,781	1,921
負債合計	511,100	515,853
【純資産の部】		
株主資本	138,460	144,377
資本金	15,466	15,466
資本剰余金	17,053	17,052
利益剰余金	106,158	112,077
自己株式	△218	△219
評価・換算差額等	4,141	691
新株予約権	—	25
純資産合計	142,601	145,093
負債純資産合計	653,702	660,946

単独損益計算書 (単位:百万円)

	前期 2007年2月21日から 2008年2月20日まで	当期 2008年2月21日から 2009年2月20日まで
営業収益	121,530	117,216
総合あっせん収益	38,462	44,191
個品あっせん収益	11	10
融資収益	79,235	63,837
業務代行収益	—	6,142
融資代行収益	1,205	—
償却債権回収収益	546	498
その他の収益	2,012	2,500
金融収益	56	34
営業費用	101,844	103,135
営業利益	19,685	14,080
営業外収益	2,851	2,292
営業外費用	261	83
経常利益	22,275	16,289
特別利益	2,174	11,927
特別損失	1,265	8,240
税引前当期純利益	23,184	19,977
法人税等	9,078	7,784
当期純利益	14,106	12,192

投資家さま向けIR説明会

より多くの投資家さまに当社をご理解いただくため、投資家さま向けIR説明会を実施しております。説明会では業績概要や利益還元、今後の重点実施事項等についてご説明させていただいております。今後も引き続き、投資家の皆さまへの情報開示に力を入れてまいります。



株主・投資家情報ホームページのご紹介

最新のニュースリリースや月次情報をタイムリーに掲載しております。また、IR説明会の動画配信を実施するなど、さまざまな方法を活用した情報開示を行っております。



<http://www.aeoncredit.co.jp/aeon/ir/>

会社データ

■ 会社概要

(2009年2月20日現在)

商号	イオンクレジットサービス株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:8570)
本店	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
電話番号	(03)5281-2030(代表)
URL	http://www.aeoncredit.co.jp
設立	1981年6月20日
資本金	154億6,650万円

■ 取締役および監査役

(2009年5月12日現在)

取締役 会長	森 美樹
取締役 社長	神谷 和秀
常務取締役	清永 崇司
常務取締役	斉藤 達也
取締役	高野 清昭
取締役	近藤 安彦
取締役	山田 義隆
取締役	玉井 貢
取締役	浅沼 清保
取締役	池西 孝年
取締役	伊藤 秀行
取締役	石塚 和男
常勤監査役*	谷内 寿照
監査役*	杉原 弘泰
監査役*	若林 秀樹
監査役*	山浦 耕志

*監査役は全員、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 株式の状況

(2009年2月20日現在)

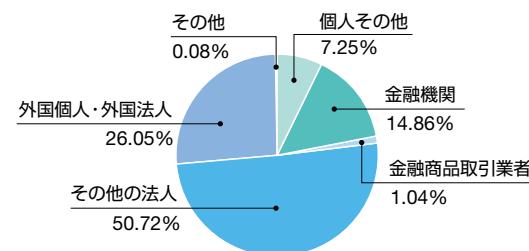
発行可能株式総数	540,000,000 株
発行済株式総数	156,967,008 株
株主数	15,483 名

■ 大株主

(2009年2月20日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン株式会社	71,576	45.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	5,906	3.76
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	5,223	3.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,958	3.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,668	2.34
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エスエル オムニバス アカウント	3,058	1.95
マックスバリュ西日本株式会社	2,646	1.69
メロン バンク エービーエヌ アムロ グローバル カस्टディ エヌ ブイ	2,636	1.68
ミニストップ株式会社	2,290	1.46
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,115	1.35

所有者別株式数の構成比



■ 株主メモ

決算期	2月20日	同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
基準日	定時株主総会基準日 2月20日 期末配当基準日 2月20日 中間配当基準日 8月20日	単元株式数	100株
定時株主総会	5月20日までに実施	公告方法	電子公告 (http://www.aeoncredit.co.jp)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載することといたします。

単元未満株式の買増制度のご案内

当社では「単元未満株式の買増制度」を実施しております。
下記ご参照のうえ、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。

1. 単元未満株式の買増制度

1単元(100株)に満たない株式(単元未満株式)をご所有の株主さまはご所有の単元未満株式と合わせて1単元となる数の株式を買増することができます*。

*2月20日から起算して12営業日前から2月20日までの間、および8月20日から起算して12営業日前から8月20日までの間は、受付を停止しております。ご了承ください。

例) ご所有の株式が **70株**の場合
買増制度により **30株**を買い増して
単元株式である**100株**とすることができます。

2. 買増請求の問い合わせ先

- 証券会社に口座をお持ちの株主さま
お取引の証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座の株主さま
(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)
みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。
- お問い合わせ先
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 **0120-288-324**(フリーダイヤル)

クレジットカード、キャッシュカード、電子マネーの特典、機能を1枚に集約した

イオンカードセレクト お申込み承り中!



特典 1 毎月20日・30日「お客さま感謝デー」は
お買物代金**5%OFF!**

特典 2 毎月5日・15日・25日
「お客さまわくわくデー」は**ポイント2倍!**



ときめきポイント
カードショッピングご利用金額200円につき、
ポイント**2倍!**



WAONポイント
WAONご利用金額200円につき、
ポイント**2倍!**

特典 3 WAONのオートチャージ
ご利用200円ごとに
1 WAONポイントプレゼント!



特典 4 各種公共料金を決済いただくと、1件につき
毎月**5 WAONポイントプレゼント!**



特典 5 イオン銀行を給与振込口座に
ご指定いただくと
毎月**10 WAONポイントプレゼント!**

お申込みはこちらから URL <http://www.aeoncredit.co.jp/>